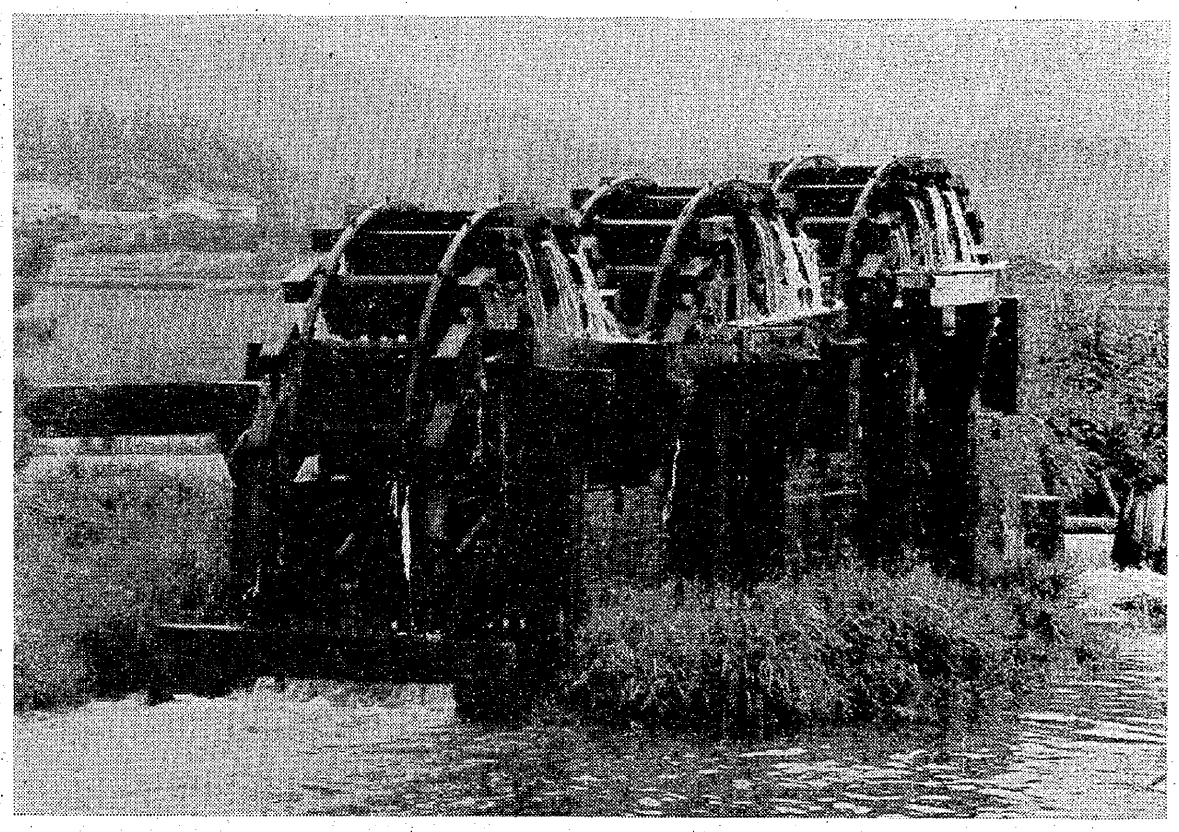

水車のある風景。福岡県朝倉町の掘川にかかる重連水車は、江戸時代から回り続けて200年。いまなお現役であり、水不足に悩む昨今、みごとにその仕掛けが生かされている。
（撮影は黒田勝儀さん。原版はカラー）

快適だった三池での三日間

まなぶ婦人集会に参加して

福島　鈴木　みわ子

―前略―

先日は、大変お世話になりました。初めてお会いした人とは感じられない、気さくな心暖かい接待に甘え、気も使わずに快適な三日間を過ごさせていただきました。

とくに、手をかけた日本風のなつかしい味のお料理は、郷愁を感じさせ、とてもうれしく、おいしく、おなかいっぱいごちそうになりました。おかげさまで少し太ったようです。

三池については「三池闘争」や「主婦会二十年」などを読む中ですでに感動病（？）にかかってそちらに行きましたが、やはり三池の皆さんに実際に接してみると、きびしいたたかいを続けてこられた、その底力を感じないわけには行きませんでした。現在は内部にもいろいろな問題をかかえているということでしたが、やはりたたかう組織、思想的に団結した組織でも永く維持していくことの困難さを知ることもできました。

けれど、今もなお、みなさんの中には資本への怒りと〝団結し、たたかい抜いてきた〟という自信と誇りが強く感じられました。一時的な感情の盛りあがりによる〝ものとり闘争〟でなく、学習をつみ重ね、思想的に裏づけされたたたかいだったことを表わすものだと思います。

いちばん驚いたことは、三池の人は真実を見抜く目を持っているということです。資本や国家にはもうごまかされないという構えを持っているということです。人間らしく生き続けるためには、社会主義社会をつくっていくしかないということに、本当に確信を持っているということです。そして、なんといっても仲間を信頼し、お互いに助け合い支え合っていることを、それを子供さんたちもきちんと見ていて、それぞれの人生の中にそれが生かされていることがすばらしいと思いました。

さて、自分自身をふりかえってみると、いままで「学習・反合理化・社会主義」と、頭の中ではスローガンをかかげていたものの、単に「行動」だけで、まだまだ運動にはなっていないのではないかと反省させられます。

自分に欠けているものはなんなのかをつかもうとして三池に行ったわけですが、とにかく足りないものばかりで、自分でもまだ頭の中が整理されていません。「やらなければ」ということだけで動いてきたことを反省し、常に総括する中から具体的に方針を立て、展望を持った運動が必要だということを感じています。

斉藤さんが「三池に行ったら、どこか変わったね。といわれるようになってほしい」といわれたことを忘れず、まず仲間に対する本当のやさしさを追求する中から、少しでも変わりたいと思っています。その裏づけのためにも、いままでさぼりがちだった「独習」にも力を入れていこうと思っています。

まだ独身で、本当の意味でたたかい続けることの大変さはわからず、今後いろいろな苦労が待ち構えているとは思いますが、一つひとつ整理してできるところから実行していくつもりです。

いろいろやさしく気を配っていただいた主婦会のみなさんと、わざわざ迎えにきてくださった息子さんによろしくお伝えください。今後の主婦会、三池労組のますますの団結を祈りつつ、私も不十分ながらみなさんと共に頑張っていくことを約束したいと思います。

書きたいことがたくさんあるのに、まだ冷静に整理できていないのです。とりあえずお礼まで。

× ×

お便りは、主婦会斉藤組織部長にあてたもので、鈴木さんは福島県いわき市小名浜島字二十九にお住いです。ありがとうございました。ともに頑張りましょう。

【写真は、新港社宅での交流】

三人の仲間と

緑が丘A　猿渡　ハギエ

「お風呂を先にしますから、貴重品は全部置いて、タオルだけ持ってきてください」。「ハーイ」といいながら浴場に向かった仲間と私でした。浴場に持っていく籠の中をひょっと見ると私のタオルがのってないのです。あわてて家人にタオルをとって、といったようなことでした。

仲間の滞在中は忘れ物しても、あとから来る人にとってもらえますが、仲間が帰った後、今日のように一人でお風呂に行って着いてからタオルを忘れていることに気づいても、だれも手助けをしてくれないのです。

歳をとると忘れ物をするとよく聞きますが、私もやはりその域にタオルを忘れたり取りに帰る日があっても仲間を待ち受け、交流したいのです。毎年学ぶことの多い交流です。今年は三人の仲間と知り合えました。

近くは北九州、遠くは青森、そして岡山からの参加者でした。私に新しい歴史を作ってくれた仲間の皆さん、ありがとう。

六月五日は、六十五歳のバースデーだったので、感激はさらに大きくなりました。

交流は不十分ではありましたが長い歴史は一泊や二泊では語りつくせないものですから、今後の交通や、再度来られた時に続けて深めていきましょう。

青年たち（運動をする人に年齢はない）、また来年お会いしましょう。

疲れがとれたら、職場で、地域で活動してください。

短歌　あじさいの花

二十分会（三川）　町　佳郎

定年のみたりを送るとカラオケにあまたなる仲間の唄いおどりぬ（送別会）
定年となりゆく仲間の多くして細りゆく組織の歩をはやめゆく
無尽数（ず）の房おとしめてアカシヤのさやぐ若葉が中に鳥の声すも
わが帰るを待ちつつそのままいねしならん子の枕辺に花火のいくつ置かれいて
ミニトマトいくつをもぎて卓に置く朝起きて娘の日課となれり
おおかたは終りとなれりさ庭辺の木々の剪定日々になしきて
面子（めんつ）かけし国盗り紛争終熄すさわなる兵士の死にたるのちに
（フォークランド紛争終る）
暑き日の続きし夕べとうとつに屋根うちつけてにわか雨降る
咲き群るるあじさいを手折（たお）りつつ娘ろとゆく不動尊参りのあかねさす道
共通の話題となりつ妻と娘の楽譜広げて語り時にはもれり

健康クイズ　しお・シオ・塩

○…普通に生活している健康な人が、一日に、これ以上とるのは望ましくない塩の量は？

① 5グラム
② 10グラム
③ 15グラム

塩分をとりすぎると胃ガンになるなどともいわれていますが、一番関係が深いのは高血圧でしょう。高血圧は脳溢血を引き起こしたり、動脈硬化を増長させたりします。また、寒い地方に多いとされる脳卒中も、寒さよりは塩分のとりすぎとの関係が深いようです。南の国には、食品自体に含まれる塩分以外はいっさい塩分をとらない人びとがいて、そこの人たちの血圧は一一〇から一二〇で常に一定。私たちのように、年をとるとともに血圧が上がるということはないそうです。

塩分の目安

ちらし寿し、幕の内弁当、天ぷらうどん、ラーメンなどはだいたい四・五グラム。みそ汁一杯が約二グラム。たくあん一切れが付くと一・五グラムの塩分を余計にとることになります。ラーメンなどはおつゆを残せば塩分は約一・五グラムになります。

▼ドクターひとくち アドバイス

日本人は世界の中では塩分をとりすぎる方だといわれています。日ごろの食生活の中で、できるだけ塩分をひかえた薄味のものを食べるように心がけましょう。また高血圧には塩分が悪いといっても厳密にいえばその中のナトリウムなのですから、食塩だけではなく重そうなどのとりすぎにも注意しましょう。さらに塩味に対する味覚は子供のときに慣れてしまいますから、できるだけ早いうちから薄味に慣れさせましょう。

（クイズの正解は、②です）

生活メモ

清涼飲料水

暑くなると清涼飲料水に飛びつくことが多くなります。また最近は罐ジュースなど、いたる所に置かれ、宣伝もまた誇大なものが多いようです。

甘味には砂糖、ブドウ糖、コーンシロップなどが使われていますが、甘味濃度は十～十二パーセントもありますから、一罐二百ミリリットル飲むと八十～百カロリーにもなり、水がわりに飲むと肥満の原因になりますから要注意です。

一口に清涼飲料水といっても、コーラなどの炭酸飲料がやはり主流で、炭酸のとりすぎも問題です。とくに子供には控えた方がいいようです。